

-家づくりを学べる体感型ショールーム-

「ハイムギャラリーパーク松戸」オープン

- 「スタディギャラリー」「インテリアギャラリー」「スタディラボ」からなる最新型のショールーム
- デジタル×アナログによる体感型設備で、“学び”と“楽しさ”を追求
- 家づくりで抱える不安・疑問を解消する「スタディラボ」を新設

2022年1月20日
東京セキスイハイム株式会社

東京セキスイハイム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉田匡秀、以下「当社」）は、2022年1月22日（土）に、体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク松戸』をオープンします。

セキスイハイムグループではこの体感型ショールームを全国で推進しており、当施設は、従来の「スタディギャラリー」と「インテリアギャラリー」に新エリアの「スタディラボ」を加えた最新型施設です。

住宅建築を検討されているお客様に、まず家づくりに関する一般的な知識をご理解いただき、そのなかでセキスイハイムの位置づけや特長をご納得いただきながら説明を進めることで、お客様満足度の向上を目指します。

『ハイムギャラリーパーク松戸』の概要

■「スタディギャラリー」「インテリアギャラリー」「スタディラボ」からなる最新型のショールーム

「スタディギャラリー」は、[家づくりスタディ][ハイムスタディ]の2つのギャラリーで構成される、映像や模型を複数導入した体感型学習エリア。「インテリアギャラリー」は、トレンドの間取りや設備の提案だけでなく、独自の空調システムを体感いただけるエリア。「スタディラボ」はWEBに溢れる情報を整理し、家づくりの不安や疑問をお客様と一緒に解決していくエリアです。

■デジタル×アナログによる体感型設備で、“学び”と“楽しさ”を追求

①非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

家づくりにおいて重要なことを記憶に残るかたちとしてご理解いただくために、4DシアターやVRなど、直感的に学べる映像体験を複数導入しました。

②巨大地震に対する備えや日本の家づくりを学ぶ

当社販売エリアにおいて関心の高い巨大地震への対策や日本の家づくりについて、実際の構造部材やジオラマ模型、アニメーション映像などを用いて解説します。

■家づくりで抱える不安・疑問を解消する「スタディラボ」を新設

「WEBや雑誌だけでは情報が不足、あるいは整理しきれない」「家づくりの不安・疑問を相談できるパートナーが欲しい」というお客様に向けて、4つのテーマ（①「資金」②「間取り」③「性能」④「土地選び」）について、家づくりの客観的な「知識」と「考え方」を解説し、1人ひとりにあった情報収集と検討をサポートいたします。

■施設概要

- ◎名称：ハイムギャラリーパーク松戸
- ◎オープン日：2022年1月22日（土）
- ◎所在地：千葉県松戸市八ヶ崎 825-1 朝日新聞総合住宅展示場「ハウジングプラザ松戸」内
- ◎開館時間：10:00～18:00
- ◎定休日：毎週火曜日・水曜日（他、ハウジングプラザ松戸の定休日に準じます。）

『ハイムギャラリーパーク松戸』の狙い

失敗しない家づくりのためには、適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては、膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。そのため、セキスイハイムグループでは、家づくりを「楽しく、わかりやすく」ご理解いただくための体感型ショールームの展開を加速させています。

『ハイムギャラリーパーク松戸』では、家づくりに必要な一般情報を客観的な視点から整理しわかりやすい形で伝え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートします。セキスイハイムの建築手法である工場生産による品質、ユニット工法による性能の高さについてご納得いただく新しい営業スタイルに取り組み、お客様満足度を高めることを目的としています。

『ハイムギャラリーパーク松戸』の構成

学びの場となる2つの「スタディギャラリー」と、トレンドの住まいを確認できる「インテリアギャラリー」、4つのテーマで不安・疑問を解消する「スタディラボ」から空間構成されます。

1. 「スタディギャラリー」

家づくりスタディギャラリー(1階)

首都圏エリアで今後30年の間に約70%の確率で発生すると予測されている首都直下地震^{*1}を、臨場感あふれる4Dシアターでリアルにシミュレーションできます。また、災害に強い家の基準をご理解いただくための展示を用意。住まいの工法模型や実際の部材など、直感的に理解できるモノを使って体感いただき、日本の家づくりにおいて想定外の災害にどう対策すべきか、お客様の判断基準形成をサポートいたします。

ハイムスタディギャラリー(2階)

セキスイハイムの特長である工場生産やボックスラーメン構造について紹介し、当社がなぜこれらの建築工法や住宅構造を採用したかの理由を解説します。また、人生100年時代に必要な「住まいのレジリエンス力」について、「地盤と基礎の大切さ」に焦点を当てて解説します。さらに、長期にわたってお住まいいただくために必要な住まいの保証制度について、失敗しないための選び方を、一般的な実例を交えながらクイズ形式でわかりやすく解説します。

スマートハウス No.1 を目指すメーカーとして、見ただけではわかりにくいエネルギーコントロールやIoT技術を活用した暮らしを体感していただきながら、その利便性や経済メリット、環境効果について解説します。

2. 「インテリアギャラリー」

トレンドの間取りや住宅設備を提案しています。40代のご夫婦+お子様2人を想定した上質な空間を設計。光を壁面に反射させる間接照明で空間の奥行感や広がりを感じさせ、ラグジュアリーな雰囲気を演出します。ホテルライクなベッドルームや、在宅ワークをしても室内窓で緩やかに仕切られお互いのペースを保てる空間を提案いたします。

3. 「スタディラボ」

家づくりでお客様が抱える不安・疑問・興味・関心に対して4つのテーマ（①「資金」②「間取り」③「性能」④「土地選び」）に絞り、客観的な家づくりの判断基準（モノサシ）を提供することで、お客様自身の動機や検討材料を「研究」していただき、不安・疑問を一緒に解決していくエリアです。展示パネルやスライドのプレゼンテーションを通して、お客様が抱える家づくりの不安・疑問をヒアリングしながら解説し、1人ひとりにあった情報収集と検討をサポートいたします。

『ハイムギャラリーパーク松戸』の特長① —デジタル×アナログによる体感型設備—

1. 非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

『ハイムギャラリーパーク松戸』で導入した主な映像技術や体感型設備は以下の4つです。

①巨大地震体感4Dシアター

首都直下地震のシミュレーション動画などで構成された映像と大音響に加え、4D技術※2（「振動」「フラッシュ演出」「風の体感」）により臨場感をもって体感していただくことで、減災住宅の重要性・必要性をご理解いただけます。



▲巨大地震体感4Dシアター
※イメージ

②ハイムユニットVR

ヘッドマウント型の360°VR体感装置を導入し、建物の仕組みや構造、建築工程を体験できます。映像内では、「バーチャルファクトリー」が眼前に広がり、アトラクション感覚で家づくりをご体感いただけます。



▲ハイムユニットVR
※イメージ

③可動型工場ジオラマ×二次元バーコード活用映像配信

セキスイハイムの工場生産の全貌を再現したジオラマと共に、家づくりの各工程を解説します。タブレット端末のカメラ機能を用いた二次元バーコードの読み込みにより、ジオラマと連動した実際の工場内建築シーンの映像をご覧いただけます。

④対話型コンテンツ「未来型スマートハイム」

スマートハウスの利便性や経済メリットを、音声操作やスマートフォンの遠隔操作などを活用して、キャラクターと対話しながら体感していただけます。



▲家づくりスタディギャラリー（1階）
※イメージ

2. 巨大地震に対する備えや日本の家づくりを学ぶ

「家づくりスタディギャラリー（1階）」では、4DシアターやVRを活用するほか、住まいの工法模型や実際の部材などを用い、一般的な日本の住宅建築の構造・工法から解説。日本の家づくりにおける大地震への備え方をご理解いただけます。特に住宅選定における「住宅の作り方・基礎の選び方・強い構造の見極め方」については、災害に強い住宅をつくる上での重要な情報と捉え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートいたします。

「ハイムスタディギャラリー（2階）」では、一般的な鉄骨（ブレース・ラーメン）構造住宅の特徴を、実物の鉄骨スケルトン展示やアニメーション映像を使ってわかりやすく説明します。



▲ハイムスタディギャラリー（2階）
※イメージ

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」で実現可能なHEMSやIoT技術を活用した暮らしの利便性、将来の拡張性について、一日の暮らしを再現するプレゼンテーションでお伝えします。スマートフォンと連携するIoT化された宅配BOX※3の活用をはじめ、先進の住設備についても体感していただけます。



▲未来型スマートハイム体感
※イメージ

『ハイムギャラリーパーク松戸』の特長② -「スタディラボ」を新設-

1.「資金」

「建築資金」「ローン返済」「将来設計」など、家づくりの資金についてお客様が抱える不安をヒアリングしながら、住宅営業と各プロフェッショナルの役割を解説。一般的な家づくり資金についての知識と、適切な不安の解消方法を一緒に検討していきます。

2.「間取り」

現在の暮らしで感じている不満や家づくりの理想をお客様に想像していただきながら、間取り作成にあたって「プランデザイナー」が考える、家の「中」と「外」の2つの視点を解説。現在の暮らしと照らし合わせて考えることで、納得のいく間取りの作り方を学んでいただきます。

3.「性能」

例えば「家じゅうを暖かくしたい」など、今の生活で改善したいことを振り返りながら、安心・快適な住宅性能について考えていきます。カタログに載っている住宅性能の数値をみてもなかなか比較検討できないケースでも、期待する性能を叶える方法を分かりやすく解説し家づくりのサポートを行います。

4.「土地選び」

「陽当たりや風通し」「地盤」「仲介手数料」など、土地選びで気になることを考えていただきながら、失敗しない土地選びのポイントを解説。「事前調査」「予算配分」「条件の整理」の3つのポイントに加えて、まちづくりから計画された「コンセプト分譲地」についても説明します。

※1：内閣府 中央防災会議 防災対策実行会議（第3回）資料 1-1「首都直下地震の被害想定 対策のポイント」（平成25年12月24日）より（<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/jikkoukaigi/03/pdf/1-1.pdf>）。

※2：デジタルコンテンツの中でデジタル以外のリアルな要素を取り入れた手法のこと。

※3：対象の機種には制限があります。

『ハイムギャラリーパーク松戸』ショールーム外観とロゴ

地上3階建て 延床面積 383.73 m²（1階 129.95 m²、2階 131.22 m²、3階 122.56 m²）



<東京セキスイハイムグループのお客様向け情報発信拠点について>

分類	名称	所在地	対象のお客様	開設時期
体感型ショールーム	セキスイハイムミュージアム蓮田	蓮田市黒浜	検討初期段階	2019年5月
	セキスイハイムミュージアム千葉	千葉市美浜区	検討初期段階	2020年1月
	セキスイハイムミュージアム山梨	山梨県中巨摩郡	検討初期段階	2020年2月
	ハイムギャラリーパーク大宮	さいたま市北区	検討初期段階	2020年8月
	ハイムギャラリーパーク港北	横浜市都筑区	検討初期段階	2020年11月
	ハイムギャラリーパーク TOKYO EAST	東京都足立区	検討初期段階	2021年3月
	ハイムギャラリーパーク千葉北	千葉市稲毛区	検討初期段階	2021年9月
	ハイムギャラリーパーク松戸	松戸市八ヶ崎	検討初期段階	2022年1月
住まいの価値向上 リフォームのための ショールーム	セキスイファミエスミュージアム さいたま	さいたま市北区	リフォーム検討	2020年1月
	セキスイファミエスギャラリー TOKYO WEST	東京都 武蔵村山市	リフォーム検討	2020年9月
	セキスイファミエスミュージアム千葉	千葉市中央区	リフォーム検討	2020年10月
	セキスイファミエスミュージアム ヨコハマぐらし館	横浜市西区	リフォーム検討	2021年2月
	セキスイファミエス 坂戸ショールーム	坂戸市緑町	リフォーム検討	2021年3月
	セキスイファミエスギャラリー松戸	松戸市常盤平	リフォーム検討	2021年4月
宿泊体感棟	快適宿泊体感棟 ミライハマ	千葉市美浜区	検討初期段階	2022年1月
	快適宿泊体感棟 羽生	埼玉県羽生市	検討初期段階	2021年6月

[東京セキスイハイム株式会社 会社概要]

- ◎設立 : 1974年4月1日
- ◎資本金 : 4億円 (積水化学工業株式会社 100%出資)
- ◎代表者 : 代表取締役社長 吉田匡秀 (よしだまさひで)
- ◎売上高 : 582億円 (2021年3月期決算)
- ◎従業員数 : 1,041名 (2021年4月現在)
- ◎事業内容 : 積水化学工業(株)のユニット住宅セキスイハイム・ツーユーホームの販売・設計
・施工管理、宅地分譲等不動産取引
- ◎展示場 : 東京エリア 13拠点 神奈川エリア 17拠点 山梨エリア 5拠点
千葉エリア 16拠点 埼玉エリア 20拠点 (2021年9月1日現在)
- ◎グループ会社 : 東京セキスイファミエス株式会社、東京セキスイハイム施工株式会社
- ◎本社所在地 : 〒163-1034 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー34階 N棟

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

東京セキスイハイム株式会社

〒163-1034 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー34階 N棟

- 本社 マーケティング部 柳川 TEL : 03-5320-8112
- 千葉営業本部 営業企画課 神奴 (かみやっこ) TEL : 043-212-8111
- お問い合わせ時間 10:00~18:00 ■定休日 毎週 火曜日・水曜日